

文部科学大臣杯 全日本大学対抗選手権自転車競技大会 (通称インカレ)の開催候補地公募

2016年12月
日本学生自転車競技連盟

文部科学大臣杯 全日本大学対抗選手権自転車競技大会(通称インカレ)は、昭和11(1936)年創立の本連盟を代表する主要大会であります。学校対抗形式による種目別優勝者を決め、もって選手権校を決めることを目的とする同大会は、日本全国各地における開催を通じて日本における自転車競技の普及発展に寄与することも企図しております。

同大会の開催については、トラック・ロード両種目が開催可能な都道府県連盟と協力して準備にあたってきているところでありますが、複数の都道府県が開催に前向きに対応していただける年がある一方で、公道でのロードレース開催の見込みがたたない年が連続することもあるのが実情であります。より安定的かつ長期的展望を以て早期に開催地が選定されるよう、2007年より広く開催地を公募することとしております。また、実施にあたっては開催地との協議事項も多いことから、「開催候補地」の公募とし、応募地との協議を通じて開催地を決定する事と致します。

応募資格者： 開催地都道府県自転車競技連盟、地方行政庁、もしくはそれらに準ずる団体

応募要件： 原則として以下の条件を満たすこと。

開催日： 8月最終週もしくは9月第1週 日曜日を最終日とする4日間で、
前半3日間にてトラックレース、最終日にロードレースが実施できること。
(2018年度からはロードレースのみの開催候補地も募集します)

競技場
トラック：原則として周長250mまたは333m以下の公認自転車競技場
400mトラック、競輪場の場合、ロードコース・開催エリア等との総合的判断による。
ロード：公道を主体とする周回コースでJCF基準に準拠したもの。
(原則として、適度な高低差のある周長10KM以上の周回コース)
トラック、ロード会場間の移動時間が概ね2時間以内

準備業務負担：トラック使用許可、ロードコース道路使用許可、
その他必要な許認可を開催地行政または都道府県連盟にて取得
競技に直接関わる分野を本連盟にて準備
競技役員：10～20名の競技役員を開催地都道府県連盟より派遣。
(上記人数には交通規制にかかる立哨員、トラック競技における補助員を含まない)

費用負担：ロードコース道路使用関連費用(交通規制要員・看板設置費用等)：
開催地行政または都道府県連盟にて負担。
トラック競技場借用料：開催地行政または都道府県連盟にて負担。
競技運営に直接関わる費用を本連盟が負担。

宿泊施設：チーム、競技役員が宿泊可能な十分な数が確保されること。(約400名)

駐車場：競技運営、観戦に必要な駐車台数が確保されること。

雨天対応施設：式典・監督会議・競技運営・選手控え等、雨天対応施設のあること。

応募方法： 応募フォーマットに記入して郵送ならびにE-MAILの両方にて応募する。

応募期限： 開催前年の6月末日(翌々年立候補も受け付ける)

選考方法 必要に応じて現地視察を行い、本連盟理事会において決定する。
原則として前年の大学対抗選手権大会閉会式において開催地を発表する。
現地視察に伴う費用は原則として応募者負担とする。

以上